

---

## 岐阜県立岐阜商業高等学校

校 長 村山 義広

学校住所 岐阜市則武新屋敷1816-6 電話 058-231-6161

---

### 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- |   |       |                           |             |                  |
|---|-------|---------------------------|-------------|------------------|
| 1 | 会議名   | 岐阜商業高等学校 学校運営協議会 (第1回)    |             |                  |
| 2 | 開催日時  | 令和6年6月24日 (月) 15:00~16:45 |             |                  |
| 3 | 開催場所  | 岐阜商業高等学校 凜心会館2F 会議室       |             |                  |
| 4 | 参加者   | 会 長                       | 川島 政樹       | カワボウ株式会社 代表取締役社長 |
|   |       | 副 会 長                     | 大友 克之       | 朝日大学 学長          |
|   |       | 委 員                       | 和田 直也       | 岐阜市議会議員          |
|   |       |                           | 大野 裕美       | 早田公民館 元館長        |
|   |       |                           | 富田 洋子       | 全日制PTA特別活動委員長    |
|   |       |                           | 落合 直美       | 定時制育友会副会長        |
|   | 学 校 側 | 村山 義広                     | 校長          |                  |
|   |       | 奈波 宏和                     | 副校長         |                  |
|   |       | 木方 洋                      | 事務部長        |                  |
|   |       | 早矢仕賢治                     | 教頭          |                  |
|   |       | 下平 昌子                     | 教頭          |                  |
|   |       | 田中 英淳                     | 商業教育推進部長    |                  |
|   |       | 後藤 敦史                     | 教務部長        |                  |
|   |       | 糸井 統                      | 生徒指導部長 (欠席) |                  |
|   |       | 大池 須美子                    | 進学指導部長      |                  |

#### 5 会議の概要 (協議事項)

- (1) 学校長挨拶
  - ・学校運営の方針と重点について
  - ・スクールポリシーの具体的実践について
- (2) 教育指導の重点及び学校計画について
- (3) 学校全般について
- (4) その他

#### 【全日制】

意見1：今、岐阜県は「ふるさと教育」が重視されているところであるが、県岐商にとっての「ふるさと教育」とは何かを考えたとき、やはり「県岐商ブランド」というものが岐阜にはあり、それを大切に育てていくことが学校への帰属意識や地域への帰属意識につながっていくと思う。また、資格取得の数値を全国的なデータで見ると大変素晴らしい実績を誇っている。これは生徒の頑張りもあるが、一流の専門教育が行われているということであり、カリキュラムとして正しいということが証明されている。このような実績をもっと外に発信していくことで生徒にも励みになるし、ブランド力もさらに上がっていくのではないかと考える。

意見 2 : 資料 1 にある「ふるさと教育」の推進による専門高校の在り方が脅威になっているということはどう理解するとよいのですか。

⇒我々、専門高校は随分前から地元で根差したこの「ふるさと教育」というものを実践してきたという自負がある。しかし、近年はどこかの学校も力を入れるようになってきており、ポテンシャルの高い普通科高校の生徒たちが我々の領域には入ってきている現状があるなかで、商業高校として何ができるのかその在り方については見直しを図っていかねばならないと考える。その意味で脅威であると感じている。

意見 3 : スクールポリシーのなかで「ふるさと岐阜」への誇りと愛着を育むために生徒をどう育てるかという内容においては、資料を見ると高い職業意識・規範意識の育成につながっており、この点は少しキャリア教育に近いように感じる。地元の企業を県外の企業と比較するとき、強いのか弱いのかを理解することは高校生の時点で難しい。ただ単に人材を県外に流出させないようにするという事ならこれらの取り組みは 1 つの論理として成立するが、この資料にある第 4 次岐阜県教育振興基本計画などにもあるように、もう少し高いレベルで産業教育のスペシャリストの育成を目指すとなると、カリキュラムマップにもう少しひねりを加えないと目標到達には難しいと考える。なぜならば、岐阜の地域経済自体が弱ってきている面があり、関東や関西地区への人材の流出が止まらないという構図に陥っている。このことは多くの地方都市でも見られる傾向だが、県岐商においては、もう少し自校の歴史や伝統に立脚していく、あるいは、もっと県岐商の強みや県岐商にしかできないことを伸ばしていくと良いのではないかと考える。また、探究の授業等の内容も地域に根付いた身近な課題に商業的なテクニックやスパイスを加え、それを卒業生や保護者、地域社会あるいは全国の商業高校に発信していくことが、ふるさと岐阜への誇りと愛着につながっていくのではないかと考えるし、岐阜県でそれができるのは県岐商だけだと思う。

意見 4 : 資格取得の実績の部分では大変素晴らしく、母校としても誇りに思う。岐阜市の初等教育においては児童生徒の自己肯定感が比較的低いと言われているなかで、県岐商のように資格取得が方向転換を図る大きなきっかけになっていることは良いことだと思うので、そこはぜひ伸ばしてほしいと思う。あと生徒の挨拶に関してだが、コロナ以降、かつてのような規律ある挨拶が少なくなったように感じる。それが良いとか悪いとかは言えない時代だが、自然とさわやかな挨拶ができる文化はぜひとも継承してほしいと思う。また、県岐商は「凜心会」という学校や生徒を支援する素晴らしい同窓会組織があるにも関わらず、生徒の多くはその同窓会組織のことを知らないまま卒業していつている。起業家思考の生徒にとって、経済界で活躍する卒業生が多いこの凜心会の空間は非常に有効であり、県岐商生であることのステータスを在学中に感じられる場面があってもよいのではないかと考える。もっと凜心会の基金を学校の商業教育や学校マネジメントに有効に活用していただけるとよい。

⇒全校集会等の訓話のなかで「凜心会」のことを話すことは結構あるのですが、校長が話してもあまり響かない。それよりも凜心会の方々と生徒が直接触れ合える場面があると効果的であると考える。また検討していきたい。

意見 5 : 50 年前からここに住んでいるが、当時はグラウンドの方からこちらに向かって挨拶が飛んできたり、バスに乗車するときも挨拶されたりとそれが県岐商のイメージであるので、これからも挨拶の指導は継続的に行っていただきたい。また、県岐商の卒業生は凜心会のことをとても大切に思っている人が多いし、今の 60～70 歳代の卒業生の方たちは今でも地元との交流がある。県岐商の「ふるさと教育」をこれからも大切にしていってほしい。

意見 6 : 先生方が学校経営に関して、ここまで細かい目標等を立てて実践してくださっていることにありがたく思っている。子どもたちも地域の方々に支えられてとても幸せだと思う。私も卒業生であるが、確かに当時よりは挨拶の質は変わってきているなど感じるが、他の学校よりは挨拶をしてくださるのではないかと考える。また、県岐商の卒業生というだけで、見知らぬ卒業生であっても話がはずんだり、可愛がっていただけるので、子どもたちも卒業してからそれを感じるときが必ずくると思う。県岐商の卒業生でよかったと感じている。

意見 7：教務部のアンケート結果については、前回の議論から修正していただき、わかりやすくなったと思う。進路指導部について、商業課程で会計を学んだ生徒の強みは、会社情報を決算書から得られること。やはり良い会社というのは経理の状況が整っているので ぜひ企業研究や会社選択のなかでそういったことを独自にやっていくことも商業高校のアプローチとしては非常に良いのではないと思う。県岐商の就職先一覧にある企業は優良企業が非常に多くあるが、求人票だけでは会社の良さや魅力は伝わらない部分があるので、会計の基礎がある生徒がそのような視点で企業研究を行うことが、地域や地元企業を知ることにもなり、「ふるさと教育」につながる大切なアプローチになるのではないかと考える。

意見 8：教務部のアンケート結果はとてもわかりやすくなったが、今度はさらにこのデータ結果に資格取得率の欄を付け加え、その相関性を分析することで早期に原因を発見できたり、予防因子をつかむことができるのではないかと考える。このような数値が出てくると非常に興味深く観ることができるし、さらに突っ込んだ分析ができ、教育現場に具体的に還元することができるのではないと思う。

意見 9：大学の進学先が科別でわかるとありがたい。新しい企画の「ホームカミングデイ」はとてもいい企画だと期待しているが、120周年記念事業としてやられるのか。  
⇒「ホームカミングデイ」は毎年、企画していく予定である。ぜひご参加ください。

意見 10：地域としては学校と連携して、生徒さんの作品等を地域の文化祭などに展示するなど、いろいろ交流を図る計画を考えていますので、またご協力していただきたい。

意見 11：資格取得については、私たちの時代とは違って随分高いレベルの資格に挑戦しているなど感じている。子どもたちは部活動との両立をしながら、授業についていくのは大変だと思うが高い資格取得を目指して頑張ってもらいたい。

#### 【定時制】

意見 12：子どもが県岐商に来てよかったと思っていただければそれでよいと思っている。

意見 13：先生方は一般の授業以外にも校外学習などで生徒とのコミュニケーションを図るなど親身になって指導していただいている。定時制は貴重な学びの場であるので、先生方の力を借りて今後ともご指導をお願いしたい。

意見 14：子どもたちは資格取得が難しいというイメージがあり、1回検定に落ちると次に挑戦するモチベーションが上がらないみたいである。なかなか次に進めないでいることがあるが資格取得に向けて頑張ってもらいたい。  
⇒県下の定時制のなかでも、本校は資格取得において実績には自信があるので、お子さまを励ましながら頑張らせてもらえるとありがたい。

## 6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、委員の皆様から種々の意見交換が行われたうえで、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。企業、大学、地域、PTAなど様々な分野から多岐にわたるご提言やご助言をいただき、今後の学校教育を運営するにあたり、大変参考となった。今年度の学校経営に活かしていきたい。